

1 漢字朝礼

今年の四年生は低学年の時に「お話朝礼」で、三年生からは「解字朝礼」で、すでに漢字を学習してきました。特に三年生の「解字朝礼」では提出漢字も多く、漢字の部品の意味をつかんだ上で、漢字の全体の意味を考えていくことを経験しています。また漢字に対する興味・関心も高く、教師の発問に対して鋭い反応がありました。そこでこの四年生には次のことに留意して、解字朝礼を実践してみることにしました。

直観的にわかりやすい漢字を提出する。

新出漢字をできるだけ取りあげる。

熟語や短文作りにも力を入れる。

提出漢字は反復して取りあげる。

(一学期)5月18日<三年の復習>

・ 解字朝礼の時の約束は次のとおりです。

イ 返事をしてから手を挙げよう。

ロ 手は黙って挙げよう。

・ 「手」の復習



才手

手+口 右 手+工 左 手+手 友

人+手+心 急 捧+手 受

第一回目の「解字朝礼」でしたので四年生になってからの“約束”や三年の「解字朝礼」で習った漢字を復習したりしました。

6月1日 園(提出漢字)

T この前の時間は何を勉強したの？

C 三年までの復習。

C 友！

C 急！

T 今日の勉強は「園」です。この「」は何を表わすのだらう。

C おり！

C 動物園全体！

T 「かこむ」という意味を表します。「くにがまえ」です。その中の「袁」はどんな意味ですか？

C 土と人！

C 猿！

T 衣です。着物のことですね。「口」は何を示しますか？

C すそ、えり、うでわ、おび。

T ゆったりと囲むという意味です。「袁」は畑や庭を示します。全体として、畑や庭を囲ったものを表わします。そこから人がたくさん集まるような、まわりをかこまれた場所を表わすようになりました。

験<

<熟語> 公園・遊園地・動物園・幼稚園・保育園・学園・公園・植物園・ぶどう園

くにがまえの意味や名称はよくわかっていたようです。「遠足」という熟語を、発音が同じなので「園足」と書いた児童がいたので、「し」の

意味から「遠」を使うのが正しいことを指導しました。

6月10日 験(提出漢字)

T 今日の勉強は「験」です。この漢字が読めますか？

C ケン！

T どんな意味か知っている人？

C 検定試験の「験」。

T 漢字の形から考えてみよう。(馬をさして)これは？

C 馬！

T 昔はこうだったんだ。

C 馬の足とたてがみがある。

T 「僉」の成り立ちで、三角のものは集まる印。箱形のはなんだろう？

C 口だ。

T その下の方のは？

C 人がたくさん集まっている。

T これ全体ではどんな意味になりますか？

C たくさんの人が集まって相談する。

T そう、たくさんの方の意見をまとめる。それでは、右側と左側を合わせて考えてみると、馬が集まる。そして集まった馬の中でどの馬が速いか実際に走らせてためしてみる。このことから、「ためす」「調

べる」という意味になってきたのです。「ケン」と読む漢字にはどんなものがありますか？

・ 子どもから出た漢字 検(検査・検定)、剣(剣道)

・ 教えた漢字 儉・険

「僉」のつく字は「ケン」と読めることを教えたところ、教師から提出した「儉」や「険」も「僉」がつくのでよく読めましたが、意味については深入りしないようにしました。また「験」の指導では「僉」の部分の意味がむずかしかったようです。

6月15日 検 儉(提出漢字)

T 今日は「検」を勉強します。「木」は何偏ですか？

C きへん！

T 「僉」はどんな意味でしたか？

C 集める！

T 「木を集めて調べる」ということになるね。この「木」は昔はどんなものだったかな？

C 机！

C 紙のかわりに使われていた。

T そうだね、紙です。みんなが使っているノートも紙ですね。ここでは書き物、つまり書類です。意味は書類を集めて調べることです。

T 儉約の「儉」の意味を考えてみよう。これは人が相談して意味を一つにまとめるように、集めてむだがないようにすることです。つまり、むだ遣いをしないことです。

・ 子どもから出た熟語 検印・検定・検査

先週から「僉」のつく漢脱字の読み方と意味を考えさせてきました。

「ケン」という読み方はよくわかってきたようですが、意味を考えることはあと一歩というところです。「検」の木偏は机や紙という意味があることはよく覚えていたように思われます。

全体に三年生までの学習が生かされたと考えられます。

6月22日 衛 違(提出漢字)

T 今日の勉強は「衛」です。どう読みますか？

C 衛生調査の「エイ」です。

T 「行」の意味わかりますか？ 昔はこうでした。

𠄎

C 交差点、十字路！

T 「韋」の意味はどうですか？

韋  (板書) あし
もの

あし

C 「立」や「斗」は「あし」。

C 「口」は「もの」。


T 交差点をぐるぐる回る。何か悪いことをするものがないかとぐるぐる回ってみる。熟語では「守衛」があります。「韋」はどう読みますか？

C ……

T 「イ」と読みます。では「違」、この漢字はどう読みますか？

C イ！ ちがう！

T では、意味を考えてみよう。絵をかいてみると、

 (板書)

だから、すれちがう。ということは、反対方向に進むということなので、「ちがう」という意味になります。

今回の提出漢字は三年生の「解字朝礼」で学習しているものだったので、大多数の子どもから「衛」の「行」の意味、「韋」の成り立ちが出てくると予想していたのですが、忘れてしまった子がほとんどで意外でした。やはりくり返してやるのが大切だということが痛感されました。「違」は意味や読み方はほとんどの子どもたちが知っていたようです。

6月29日 查 助 祖(提出漢字)

T 「偉」や「緯」はどう読みますか？

C 「イ」

T この漢字「衛」はどんな意味がありますか？

C パトロールする。

C 十字路！

T それでは、今日の漢字は検査の「查」です。上の部分は「木」だね。

查 

下の「且」は何だろう。地面にものをかさねるという意味です。木を重ねるとは？

C わかった、関所だ。テレビでみたことがある。

T 昔の関所は木の柵で道を通る人を止め、あやしい人や物を調べました。だからこまかく調べるという意味になりました。それでは

「助」の意味は？

C 力を重ねる、助ける。

T 「祖」は？ 「ネ」は？

C 神様！

T 神様が重なる。おじいさん、またそのおじいさん、というふうに重なる、先祖です。

「査」の「木」が何を表わすかがわかりにくかったようですが、「且」の意味はつかめて「助」や「祖」の意味もよく理解してくれました。

7月6日 門 開(提出漢字)

T 読めますね。

門

C もん！

T 音読みは「もん」、訓読みは？

C かど！

T では、この字は知ってますか？ 音読みで読んで。

開

C かい！

T 訓読みでは？

C ひらく！

T 門の意味は知っている？

門

C 西部劇に出てくるやつ！

T どの国で生まれたの？

C 中国！

T 中国の門はどんな門か知っている？

C 万蔵寺の門のようなもの。

T お寺の門は大きくて重いですね。門のなかの方、手がどうなってる？

開

C 外に開く。

T 手の上にあるものなんですか？

開

C かんぬき！

C かぎ！

T 手でかんぬきをはずし、門を開くという意味になるね。それでは、「開く」の反対の言葉は？ 書いて下さい。

C 閉。

T 読み方は？

C とじる！

T しめる！

「門」や「開」については子どもたちは成り立ちをよく知っていて、活発に意見を発表しました。

(二学期)10月2日 折 墓(提出漢字)

T この字の読み方は？

折る

C おる！

T そう。では、音読みを知っている人？

C ……

T ジャ意味は？

C 手で折る。

T 意味は「折る」。何を？

C 竹！

C 紙！

T これはおので何かを折っていますね。それでは「折」のつく熟語を知っていますか？ 光に関係がある言葉で？

㇏

C くっせつ！

T そうですね。こう書きます。そうすると音読みはどうなります？

屈折

C セツ！

T そうです。この字は「おる」という意味の他にも別の意味があります。君がたいぎになってやめてしまうということから、「くじける」という意味です。

次に、これはどうでしょう？

墓

C はか！

C 「ぼち」の「ぼ」。

T この意味を考えてみましょう。

C 草がはえていて、土地の下に人。

T そう、まずこうだね。

𠂇

C くさ！

T その下は？

◎

C お日さま！

T そう、そのまた下は？

𠂇 𠂇

C やね！

C これも「草」だ。

C お日さまを草でかくしている。

C 草の中に太陽が沈むとどうなる？

C くらい。

T 「莫」の下に「土」がある。

C くらい土の下に人がうまっている。

T それで「墓」の意味がわかりましたね。くらい土です。

11月2日 相 霜(提出漢字)

T クイズをします。草の下にある楽しみなものは？

C くすり(薬)！

T 水に点をつけたら？

C こおり(氷)！

T 羊が大きくなったら？

C うつくしい(美しい)！

T 口が三つ集まったら？

C しな(品)！

T 目があって、遠くに木がある。そして遠くの木を見ている。



C 「手相」の「相」だ。

T どんな意味？

C ……

T 下に「心」をつけると……

C そう！

C 「想像」の「そう」。

C 「感想」の「そう」。

T 意味を考えると、心の中で見ると、心の中でいろいろなことを考えてみる、思いうかべるといった意味があります。もう一つ。なんと読みますか？



C つゆ！

C しも！

T 「しも」ですね。音では「ソウ」。これは寒さで水分が霜になる。他に「相」がつくもので「箱」があるね。

11月9日 忘 盲(提出漢字)

T 今日はこの文字、どう読みますか？

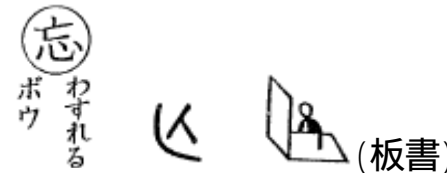
忘 (板書)

C 忘れる！

T これは音読みか訓読みか？

C 訓！

T どうして忘れるという意味になるかという、



T ものの後ろにかくれる。見えなくなる。次に、

忙 (板書)

T これは、いそがしいとか、ボウとかいったね。心がなくなる。だからゆっくりと物事をするゆとりがなくなる。もう一つ。

盲 (板書)

T 目がなくなる。だから目が見えない人を盲人という。

12月7日 看 省 秒 砂 妙子(提出漢字)

T これは何という字ですか？

看 護婦 (板書)

C かんごふ！

T 熟語は他にありませんか？

C かんびょう！

T 下の方は何かな？

C 目！

T 上は？

C 手だ。

T よく知ってるね。手と目でどんな意味になる。遠くを見る時どうしますか？

C 手をふる。

C 手でひさしを作るようにする。

T そう、だからよく見るという意味があります。もう一つは、よく見まもる。「見」の方はただなんとなく見るのだよ。看護婦さんは病気の人をよく見る。黒板をよく見る人は「看」。何となく見ている人は「見」。もう一つ、「看」を使った熟語を知ってるね。「看板」もそうだね。さて、次は。

省

C セイ！

T 「セイ」のつく熟語を知っていますか？

C 反省！

C しょう！

T 「しょう」という読み方もあるな。省。みなさんは「反省」で勉強したね。これにはどんな意味があるかな？ 下は目がついているね。上は？

C 少ない！

T そう。「少」はそそぐという意味があります。

少

T 斜線のところをけずると、けずりかすが出ますね。省というのは、少はけずって量を少なくするという意味があり、けずるとだんだん小さくなるから、小さいという意味ができた。「少」がつく漢字は、すくない、小さいということ。たとえば「秒」は、時間の短いことをいいます。それから、これは？

砂

C すな！

T 石が細かい。「妙子」というのは若い小さな女の子の意味で、若い女は美しいということから美しい人という意味になります。最後に「省」は小さい目をして細かい所まで見る。むだがあるとはぶく。よくふり返って見るという意味になりました。

12月18日 直 置(提出漢字)

T 「直」は目でまっすぐ見ることからできた。

直 直 直

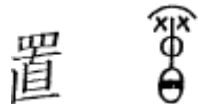
C 自ら、のぞく。

C ちよく！

T だんだん変化してまっすぐな線。まっすぐとか、まわり道をしないと
いう意味です。ここに「木」がつくとどんな意味になりますか？

C うえる、まっすぐに。

T 本をまっすぐに植えるという意味だな。もう一つ！



C おく！

T この上は？

C 物！

T 「四」の部分は？

C あみ！

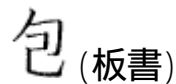
T あみをまっすぐに立てる。このあみは魚をとるあみではありません
ん。

C 畑にたてる。荒らしにくるものをとる。

T 鳥をとるためのものだな。

12月21日 包(提出漢字)

T 今日は、この字！



C ホウ！

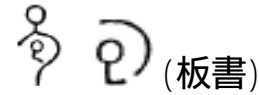
T 己は？

C つつまれるもの。

T 勺は？

C つつむもの。

T 己ができる前はこうだった。



C 人間だ！ 腹の中の子。

T 音は？

C ホウ。

T てへんがついた「抱」は？

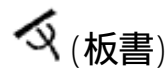
C だく。

T 手でつつむようにしっかりだく。他には？

C 大砲の「砲」です。

(三学期)1月25日 召 昭 照(提出漢字)

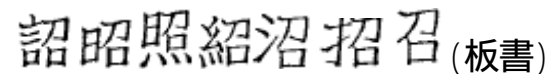
T 三年の復習をしてみよう。



C わかった、ハン！

<三年の復習> 反のつく字 飯、板、坂の読み。

T 今日はたくさん書くが、このうちで、共通しているところは？




C 召！

T 音はどう読みますか？


C ショウ！ 照明の「ショウ」。

T どれも「シヨウ」と読みますね。意味を考えてみよう。まねき猫の手はどうなっていますか。手で人を呼ぶ時、コイコイとこうする。

 (板書)

C 口で人を呼ぶ。

T 何を呼ぶ？

 (板書)

C 日と呼ぶ。

T 太陽と呼ぶと明るくなる。昭和とは？

C 明るくて平和という意味。

T それではこの意味を考えてみよう。

 (板書)

C 太陽の光がこんなふうに照らす。

T 太陽の光はいつ照らすの？ 昼ですね。太陽が照らない夜には、昔はどうしました？

C たき火！

T そう。夜は火、昼は太陽ですね。

2月10日 谷 欠 欲(提出漢字)

T 今日は山を書いてみよう。

 (板書)

C 谷！

T みんなで考えてほしいところは、点線で囲ったところ。ここは何を表わすだろうか？

C 川のふち。

T くぼんだところ。これにさんずいをつけると？

C あびせる。

T くぼんだ所で川の水が流れている。くぼんだ所に入って体を洗うこと。熟語は？

C 海水浴。


T 海の水で体を洗うこと、それから「入浴」もあるね。つぎに。

 (板書)

T 点線で囲んだ上の部分が人が口をあけている“頭”、その下の部分はひざまずいている“足”で「欠」という字。あくびとか、腹がひっこんでいる、食べ物がほしいんだな。だから「欲」の字ができたんだ。

2月15日 河(提出漢字)

T 今日は、これ。

 (板書)

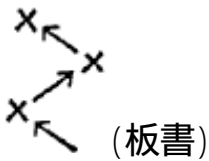
C 力！

C さんずいをつけて「かわ」。

C 可能性！

T そう「可能」の「可」ですね。意味を考えてみます。これは直角に曲

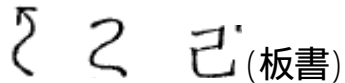
がっていますね。でも、たくさんおしゃべりすると声がかすれてくるね。



T このように何度もくねくね曲がってやっとできた、黄河という大きな河が中国にあります。この河は直角に曲がっている河です。今では大きな河という意味に使われます。

2月22日 己(提出漢字)

T 今日はどういう目印。



C 己!

C 弓!

C 己!

T わかりましたね。読み方はわかりますか? 「キ」とか「おのれ」とか「コ」とも読むね。注意されるとはっと気がつきますね。はっと起き上がることから「自分」という意味になったそうです。たとえば「和紀」(かずのり。児童の名)の「紀」だが、他には?

C 日記の「記」。

C 改造の「改」。

C 起きる。

T 「紀」はどんな意味か?

C 二十世紀!

T 「糸」は?

C いと!

T 糸をまく時、最初に目印した所から巻く。物事の始めという意味があります。「起」の「走」は?

C 走る!

T 注意されると起き上がる。足の動作を表わします。「己」のつく字と熟語は?

C 日記、記録、改良、大平記、起床、昆虫記、書記、記事、伝記。

3月1日<復習>

T 二学期と三学期にどんな字を勉強しましたか?

C 谷、浴びる。

C 己のつく字。

C 起、記。

C 昭。

C 可。

T 今日漢字しりとりをします。

浴、起、記、昭、折です。たとえば、泳、海、敏、牧のようにやります。この中のどの字からスタートしてもいいです。

(班ごとに競争。十分後に集めた漢字例)

<記> 語 計 話 読 続 細 組 紀 級 給 拾 特
待 行 衛 違 道 遠 園 国 囟 回 固 湖 沼 海
泳 清 洗 治 浩 池 地 場 坂 板 校 林 村
松(41字)

<浴> 河 治 海 湯 泳 消 池 他 休 体 化 花

草 葵 荷 芽 暮 暑 星 昭 時 侍 待 徒 行(26
字)

<記> 誠 語 話 活 海 泳 清 洗 治 浩 池 地
場 陽 湯 治 温 油 沼 昭 時 明 暗 間 開 閉
聞 問 鳴 嶋 崎 岸 炭 秋 和 稻 科 料(36字)

子どもの感想

- ・ 私たちの漢字朝礼は毎週火曜日にあります。ふつうは漢字の意味を調べたり、なりたちからやって、今使われている漢字にしたりしていったこともあります。だけど、3月1日にあった漢字しりとりもいいと思います。その漢字しりとりを一学期に一回ずつやったらいいと思います。だけど、ふつうやる漢字朝礼もなかなかおもしろいです。(持田美穂)
- ・ 今までの漢字朝礼は、ただ成り立ちばかりを勉強していたのでおもしろくありませんでした。漢字のしりとりをしたり、漢字をあてっこしたりして、漢字朝礼が楽しくなるようにくふうしてやった方がいいと思います。(三宅ゆかり)
- ・ 私はあまり発表しなかったが、いろいろくわしいことがよくわかってよかった。どうしてできたかとか、意味などがわかりやすいように教えてくださった。漢字のしりとりが一番よかったと思います。漢字のしりとりをしていると、前にならった漢字のふく習をしているみたいで、とてもいいと思いました。(福島真由美)
- ・ 漢字朝礼はいろいろな漢字をやるけれど、意味やいろいろなことがわかります。成り立ちの最初は何という字ができたかわからないけれど、だんだん形をかえていくとわかってきます。それにとても

覚えやすくいいです。(堀内真弓)

その他の感想

- ・ ぼくのきれいな漢字だけど、漢字朝礼で漢字がわかった。
- ・ しりとりだけでは、漢字の意味や成り立ちがわからないので、ヒントを言ってあてるようにすればいい。
- ・ 四年生になって、漢字朝礼がむずかしくなった。
- ・ 漢字のしりとりはよいけど、書くことや読むことはきれいです。
- ・ もっと時間を長くして、くわしく教えてほしい。
- ・ もっとわかりやすく、ゆっくり教えてほしい。
- ・ 月に一回くらいクイズみたいなものを作ってほしい。

反省

一年間をふり返ってみると、期待していたほどの反応はみられなかったようです。解字に対する新鮮さがなくなったことや、いつも同じ指導法であったためかと考えます。3月1日の「漢字朝礼」では漢字のしりとりをやってみたところ、子どもたちは大変意欲的に、活発になりました。やはり、指導のしかたを工夫しないといけないことを改めて思い知らされました。また、提出する漢字を何にするか、子どもたちにどのような活動の場を与えるか、これらをいつも念頭において指導してきたのですが、まだ不十分であったようです。

2 漢字貼り

「漢字貼り」は主として読みの教材で実施してみました。今までの漢

字貼りの原稿を使って印刷しました。準備の手間が省けて大変よかったですと思います。

(担当 園山隆政・浜崎由美)

子どもの感想

- ・ 漢字貼りはわからない漢字があると教えてもらうので、次々に漢字がわかるのでうれしいです。これからももっと漢字貼りがしたいです。(古川友美)
- ・ 漢字貼りをして読めない所もあるけれど、漢字貼りをするとすぐに漢字が覚えられるのでいい。またわかりにくい字も読めるようになるので、これからも続けてほしい。(足立恵美)

その他の感想

- ・ むずかしい漢字の横には、ふりがなをつけてほしい。
- ・ 漢字の数を少なくしてほしい。
- ・ 何行目かを書いておいてほしい。
- ・ 字の大きさや印刷をはっきりさせてほしい。

子どもたちは喜んで漢字貼りを行っていましたが、字の大きさやふりがなをつけることや印刷のことは検討する必要があるようです。

3 詩の暗誦

子どもの感想

- ・ 一年生の頃から、今までずっと心の歌や百人一首を沢山覚えている。
- ・ 今まで通り、学級で覚えてから体育館でとなえたい。